

令和2年度  
自己点検評価報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

## 1.学校の教育目標

本校は「何処の場にありても なくてはならぬ人となれ」という建学の精神のもと、先進的な工業技術を座学、実習の両面から徹底的に指導するとともに、豊かな教養を身につけ、企業の即戦力となる責任感旺盛な人材の養成を目標とする。

## 2.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

令和2年度では、以下について重点的に取り組み教育を行った。

### (1) 自動車学科

- ・二級自動車整備士9年連続100%合格を目指し、学生一人一人に合った指導を徹底する。また、校内での企業連携実習を増やし各自動車メーカーの新技術習得を目指す。
- ・就職率100%を目指し、1年次早めの会社説明会参加を促す。
- ・企業から求められる人材教育を、外部講師を招いて昨年同様に実施する。

### (2) エアポートサービス学科

- ・グランドハンドリング業務において、必要な知識と空港で使用する用語を習得させるとともに特殊車両運転に必要な資格取得させ、運転技能を向上と危険予知トレーニングを取り入れて、即戦力として活躍できるように実践的技術を身に付けさせる。
- ・就職試験対策として基礎学力の向上を図るとともに社会人として必要な教養教育を行う。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色を持っているか	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

#### ① 課題

自動車整備士養成校に対して、自動車整備業界が整備士に求めるニーズは新技術の導入に伴いますます高くなっている。本年度は、特に自動車産業界にとっては脱炭素化に向け大きな転換期を迎えた。整備の基礎は勿論のこと技術の飛躍的な進歩に伴いハイブリッド車・電気自動車、それに燃料電池車などいわゆる電動車の部門にも対応できるメカニックを育成することが必要とされている。また、航空産業界では、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止から東京オリンピックの応援者の制限など国内外の航空業界は大きな試練の時期を迎えている。ワクチンの普及により感染者の低減と終息に期待しつつ、従来の華々しい観光立国としての環境に立ち戻るため企業が求めている質の高いグランドハンドリングスタッフを育成することが重要である。併せて、両学科の共通として社会人としての人間力の育成も求められている。

#### ② 今後の改善方策

- ・自動車業界は、脱炭素化のキーワードが今やトレンドとなりメーカー各社も新たな取り組みに舵を切って進んでいる。その変化に対応するため、職業実践専門課程の特色を活かし最新の実務に関する知識・技術・技能等を習得させるよう関係業界団体・企業との連携を強化し、従来の教育に合わせ新たな教材等をプラスすることで業界の求める新技術にも対応できる人材育成に努める。
- ・エアポートサービス学科においては、専門知識の座学と就職後の就業に直結する実践実習とのバランスを計りながらその質の確保に努める。併せて、国際化にも対応した人材づくりを図ることが必要となる。また、両学科共通事項として社会人として求められるマナー・コミュニケーション力の向上に向けて全職員で取り組み継続

して教育する。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事等に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
システム化等により業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

教育活動等の公開は、HP を活用しリアルタイムに情報発信することが学生募集の効果にも繋がることから引き続き取り組んでいく必要がある。

② 今後の改善方策

自動車学科の国家資格二級自動車整備士8年連続100%合格並びにエアポートサービス学科の英語検定2級の合格者等のリリースなど、ホームページのブログを活用し学校行事並びに授業風景などタイムリーな情報発信を継続していく。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、人材育成や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関係分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

自動車整備業界では、運転支援・自動運転装置など先進技術搭載車に対応した教育に対応できるための研修等が必要である。

また、エアポートサービス学科の実習については、卒業生並びに採用企業からの評価も高いことからより実践的な実習が必要となる。

## ② 今後の改善方策

- ・自動車学科の職員研修は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から各研修会が中止となった。研修会等が再開された場合は、積極的な参加により先進的な知識・技能等を習得し資質の向上に努める。

- ・エアポートサービス学科は、本年度より実践的な実習として佐賀空港にある ANA エアサービス佐賀株式会社の協力を得て現地空港での実習を取り入れた。今後も継続的に取り組み、即戦力の人材育成に努める。

#### (4) 学習成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

##### ① 課題

卒業生の活躍等の把握については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため企業との連携は、電話・WEBでの形式となり情報収集も困難となった。

##### ② 今後の改善方策

卒業生の就職先企業との各種情報交換時並びに卒業生の来校時の機会を利用し、より把握に努める。環境が整えば企業訪問で詳細を把握できるよう取り組んでいく。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生へのアフターフォロー（支援体制）はあるか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

高等学校とのキャリア教育・職業教育の取り組みは学生募集にも波及してくることから具体的に取り組んでいく。

② 今後の改善方策

- ・ キャリア・職業教育の取り組みについては、要望のあった高等学校からの体験授業の受け入れを行っているが、更に連携校を増加させる提案を行い具現化させる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた対策として、いち早い非接触型体温計の導入をはじめ登校時の問診など職員上げて健康管理に取り組んだ。今後も感染症に対する対策指針に基づき指導徹底に努める。



(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・実習教材等の更新は、計画性をもって進めていく。

② 今後の改善方策

- ・教材は段階的な更新が必要であり、時代に即し教育効果の向上を図る。

(7) 学生募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
校納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

本年度の特徴として、対象者との対面式の各種ガイダンスの中止や姉妹校への広報不足もあり入学者が激減した。この反省を活かし継続的に必要なものと改めるものを取捨選択し効果的な広報活動が必要となる。

② 今後の改善方策

- ・募集活動を取り巻く環境は極めて厳しく、その中であって対象者に対して解りやすく且つインパクトのある広報物（パンフレットなどの印刷物）を追求し作成する。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う行動制限のなかでの募集の在り方を再考し、HP等を利用した情報発信にも引き続き取り組んでいく。
- ・学科の特色、特に自動車整備士の国家資格の魅力についてアピールし希望ジャンル外からオープンキャンパスへの参加へ動員する募集広報活動を繰り広げるため、これまで以上の学校訪問と資料請求者等に対する対応も活発化させる。この際、行政・業界・企業との連携を図り些細な情報源も活用するよう心掛ける。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適切に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

- ・財務基盤の安定のためにも募集定員の充足率の向上が求められる。

② 今後の改善方策

- ・学校の価値を高めることは募集活動に相乗効果として現れることから、より良い学校づくりに向けて教職員一丸となり取り組んでいく。
- ・財務は、学校法人において監査並びに財務公開まで適切に行われている。

(9) 法令等の順守

評 価 項 目	適切...4、ほぼ適切...3 やや不適切...2、不適...1
法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

法令や設置基準は遵守されており適正に運営されている。また自己評価結果の公開は適切に行われている。ただし個々の問題点の改善は引き続き取り組まなければならない。

② 今後の改善方策

自己点検評価の最大の狙いは、諸々の問題点の改善に取り組むことであり、引き続き全職員の問題解決に向けた意識改革が必要である。